

第10回 阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会 ニュース

当日の内容を皆様と共有させていただくため、ニュースを毎回発行していきます。

2020年8月3日 発行

2020年6月25日に「第10回阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会」を茨木市福祉文化会館にて開催しました。

今回も商店会で営業されている方や阪急茨木市駅周辺まちづくりに関心のある方など、総勢10名の方に参加いただきました。

今回の学集会が最終回であることから、これまで議論した内容を皆さんと共有し、アドバイザーである久教授からの講評、参加いただいた皆さんからの感想等を頂きました。

○ これまで議論した内容の共有

学集会のまとめとして、阪急茨木市駅周辺の特徴や課題、将来像、必要な機能等について、参加いただいた皆さんのご意見をまとめた内容を共有し、学集会等の意見を基に作成した阪急茨木市駅前将来イメージ（概ね30年後の姿）を参加者と共有しました。



将来イメージ（まちづくり学集会参加者の「One Art Project 稲垣様、藤本様」のご協力を得て作成）

○ 久教授からの講評

昨今のコロナウイルスへの対応が、今回皆さんで議論した内容を実現する追い風になるのではないかと考えています。私が勤める大学では、ある質問が SNS 上に投稿されると、それに対し誰かが回答するといったプラットフォームが構築されるなど、情報交換が頻繁に行われています。このようなプラットフォームをまちづくりにも活用し、情報交換や人とのつながりを構築することができれば、皆さんの思うまちづくりが進んでいくと思います。以前ご紹介した彦根市の花しょうぶ通り商店街のキャッチフレーズ「100の

愚痴より 10 の提案、10 の提案より 1 の実行」のように、自分にできることはないかをぜひ考えてみていただきたいです。エリックバーンの言葉に「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」というのがあります。未来をどうしたいかを考え、皆さんで共有していただきたいと思います。

○ 参加者からの感想など

コロナ禍を経験し、人と人が話すことが重要と感じた。まちづくり学集会で議論した内容が実現できれば、良いまちができると思います。

コロナ禍を機に、イーバーイーツ等でデリバリーやテイクアウトに挑戦するお店が増え、SNS を活用し営業できました。他にもイベントに不参加だった店舗がイーバーイーツに加わる等、新しいツールに取り組んでいただけました。次、どのようにまちは変わっていくのか、今回のまちづくりの方向性はすごく良いと思います。

将来イメージを作成させていただきましたが、皆様のご意見をイメージ化することは難しい事ですが、非常に大事なことだと思いました。日々の積み重ねで 30 年後がやって来ます。この絵が 30 年後どんなふうに見えるか楽しみに思いました。

30 年前も今も 30 年後も人と人のつながりが有るか無いかでまちの活気は違うと思います。意見を聞くことが難しい人達の声を聞き入れ、まちに入れ込むことができれば、まちが色々な人にとって発展していける要素になると思います。

商店街はコロナ後、客足が徐々に戻ってきた。
商店街も生まれ変わっていきたい。

茨木でもまちづくり会社が立ち上がった。
行動することで未来を変えていきたい。



紙面の関係上、主な意見を記載しております。

○ 久教授の総括

今後の展開に向けたお話をさせていただきます。

変わりたいけれど変わらない人には支援が必要で、そのような仕組みがイーバーイーツでした。市やその他のお手伝いできる人がこれからも手を差し伸べる必要があります。

今回の将来イメージは、学集会として、車が無い歩行者優先の空間を作りたいということを投げかけました。後は実現に向け、進めていく中でどこまでできるかが勝負だと思えます。計画する際、私達がどのように使いたいのか、そのために必要な広さ、デザインを決めるという流れによってふさわしい空間ができます。人の姿を描くことによってどのような行動を実現したいかが共有できます。将来イメージは「こういう使い方をしたい」という皆さんの想いを表現しました。今後、具体的な絵が私達の想いにどれだけ近づいているのか、意見交換できる場をできるだけ多く作っていただければと期待しております。

連絡先:茨木市 市街地新生課 担当:三浦、参河(みかわ)

TEL :072-620-1821 FAX :072-620-1730 mail:shigaichi@city.ibaraki.lg.jp